



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 リズム時計工業株式会社
 コード番号 7769 URL <http://www.rhythm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 笠間 達雄
 (氏名) 奥田 伸一郎

TEL 048-643-7213

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	15,066	△4.8	210	△77.5	477	△55.5	296	△46.8
25年3月期第2四半期	15,822	28.0	934	187.8	1,073	179.8	556	223.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,263百万円 (586.0%) 25年3月期第2四半期 184百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.56	—
25年3月期第2四半期	4.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	44,964	32,849	73.1	284.09
25年3月期	39,368	31,933	81.1	276.15

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 32,849百万円 25年3月期 31,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	3.0	1,000	△44.1	1,400	△31.7	1,000	△30.7	8.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) PT UMEDA KOGYO INDONESIA 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	132,178,939 株	25年3月期	132,178,939 株
----------	---------------	--------	---------------

- ② 期末自己株式数

26年3月期2Q	16,550,503 株	25年3月期	16,543,474 株
----------	--------------	--------	--------------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	115,632,028 株	25年3月期2Q	121,978,999 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の経済は回復基調が続いているものの個人消費に力強さを欠き、欧州経済も緊縮財政の影響により低迷状況が続きました。中国などは引き続き軟調に推移し、その他新興国についても、現地通貨の下落などから経済成長は減速しました。わが国経済は、輸出環境の改善や各種政策の効果等を背景に回復が進んでおります。

このような状況のもと、当社グループは、収益基盤の強化とともに売上高の拡大に取り組んでおります。時計事業は、国内では防災行政ラジオの売上が減少しましたが、海外における売上増加により、事業全体では増収となりました。利益面においては、前年同期に比べ円安による売上原価の増加などにより、減益となりました。電子事業は、情報機器、車載機器の受注が低調であったため減収減益となり、プレジジョン事業も、受注の減少により減収となりました。接続端子事業は、太陽光パネルなど次世代エネルギー分野の受注が好調に推移し、増収増益となりました。

以上のことから、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、150億66百万円となり前年同期158億22百万円に対し4.8%の減収となりました。営業利益は、2億10百万円となり前年同期9億34百万円に対し77.5%の減益となりました。経常利益は、4億77百万円となり前年同期10億73百万円に対し55.5%の減益となりました。これらに税金費用等を計上した結果、当第2四半期連結累計期間の純利益は2億96百万円となり前年同期5億56百万円に対し46.8%の減益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①時計事業

時計事業におきましては、国内販売のクロックは、7月に発売した大音量めざまし時計が好評を得て、非クロックは、昨年発売したUSBファンに新型を追加したこと等により好調に推移しましたが、防災行政ラジオの受注減少をカバーするには至りませんでした。しかし、海外における売上増加により、時計事業全体では増収となりました。継続して収益改善に取り組んでおりますが、円安の影響により減益となりました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は62億78百万円となり前年同期61億34百万円に対し2.3%の増収となりました。営業利益は2億89百万円となり、前年同期7億36百万円に対し60.7%の減益となりました。

②電子事業

電子事業におきましては、新たな取引先の開拓を接続端子事業と合同で行っているほか、グループの技術を活かした商品開発や顧客企業へ積極的に提案を行い、業容の拡大に努めて参りましたが、車載機器分野、情報機器分野とも受注の減少により減収となりました。

利益の面におきましては、合理化に努めて参りましたが、受注減による操業度の低下、原価率の悪化等により営業損失となりました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は30億62百万円となり前年同期37億99百万円に対し19.4%の減収となりました。営業損益は、前年同期1億75百万円の営業利益に対し当第2四半期連結累計期間は1億95百万円の営業損失となりました。

③プレジジョン事業

プレジジョン事業におきましては、前年第2四半期連結会計期間以降、光学関連部品の受注が減少し、当期まで回復することができず、減収となりました。利益の面におきましては、受注の減少に伴い固定費の圧縮や合理化に努めましたが損失となりました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は25億56百万円となり、前年同期30億88百万円に対し17.2%の減収となりました。営業損益は、前年同期24百万円の営業損失に対し、当第2四半期連結累計期間は8百万円の営業損失となりました。

④接続端子事業

接続端子事業におきましては、ベトナムでの二輪向けが前年に比べ減少しましたが、国内、海外とも、次世代エネルギー分野の受注が増加し、さらに国内では自動車の電装部品や家電向けの受注も好調に推移し、増収となりました。

原材料費のアップを販売管理費の合理化等でカバーし増収効果とあわせ、営業利益は増益となりました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は27億83百万円となり前年同期24億17百万円に対し15.2%の増収となりました。営業利益は2億69百万円となり、前年同期1億59百万円に対し69.3%の増益となりました。

⑤その他

物流事業、介護事業等その他の事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億86百万円となり前年同期3億82百万円に対し0.9%の増収となりました。営業利益は27百万円となり、前年同期38百万円に対し28.1%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は449億64百万円となり、前連結会計年度末393億68百万円に比べ55億96百万円増加しました。流動資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ14億76百万円増加しました。固定資産は有形固定資産やのれんの増加などにより、前連結会計年度に比べ41億19百万円増加しました。

(負債)

負債合計は121億14百万円となり、前連結会計年度末74億35百万円に比べ46億79百万円増加しました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ22億28百万円増加しました。固定負債は前連結会計年度末に比べ24億51百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は328億49百万円となりました。前連結会計年度末に比べ、その他の包括利益累計額の増加などにより、9億16百万円増加しました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ、5億10百万円増加し、96億15百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が4億67百万円となったことなどにより、7億49百万円の資金の増加（前年同期に比べ2億60百万円の収入増）となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出などにより、29億32百万円の資金の減少（前年同期と比べ27億61百万円の支出増）となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入などにより、25億42百万円の資金の増加（前年同期は25億16百万円の資金の減少）となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（平成25年11月7日）公表の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、PT UMEDA KOGYO INDONESIAの株式を取得したため、同社を連結子会社としております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,398	8,020
受取手形及び売掛金	7,538	7,429
有価証券	2,000	2,000
たな卸資産	6,750	7,415
その他	906	1,205
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	24,592	26,068
固定資産		
有形固定資産	5,501	7,528
無形固定資産		
のれん	1,465	2,753
その他	1,277	1,399
無形固定資産合計	2,743	4,153
投資その他の資産		
投資有価証券	4,881	5,585
その他	1,771	1,763
貸倒引当金	△122	△135
投資その他の資産合計	6,530	7,213
固定資産合計	14,775	18,895
資産合計	39,368	44,964
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,245	4,213
1年内返済予定の長期借入金	—	1,182
未払法人税等	609	146
賞与引当金	173	199
役員賞与引当金	21	—
その他	1,944	2,480
流動負債合計	5,994	8,222
固定負債		
退職給付引当金	564	601
長期借入金	—	2,300
その他	876	990
固定負債合計	1,440	3,892
負債合計	7,435	12,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	15,951	15,951
利益剰余金	5,049	4,998
自己株式	△2,503	△2,504
株主資本合計	30,870	30,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	886	1,538
為替換算調整勘定	176	491
その他の包括利益累計額合計	1,063	2,030
少数株主持分	—	1
純資産合計	31,933	32,849
負債純資産合計	39,368	44,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	15,822	15,066
売上原価	11,331	11,243
売上総利益	4,490	3,823
販売費及び一般管理費	3,556	3,613
営業利益	934	210
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	63	67
受取賃貸料	106	108
信託収入	93	92
為替差益	—	65
その他	50	45
営業外収益合計	323	386
営業外費用		
支払利息	9	13
出向費用	6	10
賃貸費用	54	43
信託費用	57	30
為替差損	49	—
その他	7	22
営業外費用合計	185	118
経常利益	1,073	477
特別利益		
固定資産売却益	96	2
その他	6	—
特別利益合計	103	2
特別損失		
固定資産処分損	12	7
固定資産売却損	—	4
投資有価証券評価損	217	—
関係会社清算損	39	—
特別損失合計	269	12
税金等調整前四半期純利益	907	467
法人税、住民税及び事業税	361	151
法人税等調整額	△11	19
法人税等合計	350	171
少数株主損益調整前四半期純利益	556	296
四半期純利益	556	296

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	556	296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△306	651
為替換算調整勘定	△65	315
その他の包括利益合計	△372	967
四半期包括利益	184	1,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184	1,263

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	907	467
減価償却費	371	364
のれん償却額	85	85
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	13
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18	△13
賞与引当金の増減額(△は減少)	14	23
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△21
受取利息及び受取配当金	△73	△73
支払利息	9	13
為替差損益(△は益)	43	△30
固定資産処分損益(△は益)	12	7
固定資産売却損益(△は益)	△96	2
投資有価証券評価損益(△は益)	217	—
関係会社清算損益(△は益)	39	—
売上債権の増減額(△は増加)	877	537
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,183	△218
仕入債務の増減額(△は減少)	378	632
その他	△565	△487
小計	1,053	1,302
利息及び配当金の受取額	74	69
利息の支払額	△9	△13
法人税等の支払額	△676	△609
補助金の受取額	47	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	488	749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△78	△97
有形固定資産の取得による支出	△235	△807
有形固定資産の売却による収入	0	12
無形固定資産の取得による支出	△19	△119
無形固定資産の売却による収入	135	3
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却等による収入	27	10
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,927
その他	2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170	△2,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000	—
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	—	△100
社債の償還による支出	△210	△10
自己株式の取得による支出	△1,001	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△304	△346
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,516	2,542
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85	151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,283	510
現金及び現金同等物の期首残高	10,328	9,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,044	9,615

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジジョン事業	接続端子事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,134	3,799	3,088	2,417	15,439	382	15,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	13	101	—	147	531	679
計	6,167	3,812	3,190	2,417	15,587	914	16,501
セグメント利益又は損失(△)	736	175	△24	159	1,046	38	1,085

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,046
「その他」の区分の利益	38
セグメント間取引消去	27
全社費用(注)	△164
棚卸資産の調整額	△13
四半期連結損益計算書の営業利益	934

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジジョン事業	接続端子事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,278	3,062	2,556	2,783	14,680	386	15,066
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	6	60	—	78	408	487
計	6,290	3,068	2,616	2,783	14,759	795	15,554
セグメント利益又は損失(△)	289	△195	△8	269	354	27	382

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	354
「その他」の区分の利益	27
セグメント間取引消去	39
全社費用(注)	△179
棚卸資産の調整額	△32
四半期連結損益計算書の営業利益	210

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、当社はPT UMEDA KOGYO INDONESIAの株式を取得し、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において1,373百万円であります。なお、当該事象によるのれんの増加額は、「接続端子事業」セグメントより発生しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は、平成25年6月12日開催の取締役会において、PT UMEDA KOGYO INDONESIAを子会社化することについて決議を行い、同日付で株式譲渡契約を締結し、平成25年7月26日に株式の取得を完了しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 PT UMEDA KOGYO INDONESIA

事業の内容 金属プレス加工業(二輪・四輪、電機向け部品等の製造)

(2) 企業結合を行った主な理由

海外におけるネットワークの更なる拡大を図り、今後の新たな成長機会の獲得と併せ、当社及び当社グループにおけるグローバル展開を加速させるためであります。

(3) 企業結合日

平成25年7月26日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

- (5) 結合後企業の名称
変更ありません。
- (6) 取得した議決権比率
取得後の議決権比率 99.8%
- (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠
当社が同社の議決権の過半数を所有し同社を支配するに至ったためです。

2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	株式の取得原価	1,846百万円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	152百万円
取得原価		1,998百万円

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- (1) 発生したのれん
1,373百万円
- (2) 発生した原因
主として今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。
- (3) 償却方法及び償却期間
10年間にわたる均等償却

4. その他重要な特約等

- (1) PT UMEDA KOGYO INDONESIAは旧株主に対し、10百万米ドルの利益剰余金の配当を実施しております。
- (2) 上記、配当の資金調達のため、PT UMEDA KOGYO INDONESIAは企業結合日（平成25年7月26日）に第三者割当増資を実施し、当社及びリズム協伸株式会社が引き受けております。

増資の概要

- ①発行新株式数 普通株式 16,900株
- ②発行価額 1株につき 1,000米ドル
- ③発行総額 16,900,000米ドル
- ④増資後の資本金 18,000,000米ドル
- ⑤発行方法 第三者割当
- ⑥払込期日 平成25年7月26日

引受の概要

- ①引受株式数 当社 15,900株
リズム協伸株式会社 1,000株
- ②引受金額 当社 15,900,000米ドル
リズム協伸株式会社 1,000,000米ドル
- ③当社グループ保有株式数及び所有割合
増資前 1,098株（所有割合 99.8%）
増資後 当社 16,998株（所有割合 94.43%）
リズム協伸株式会社 1,000株（所有割合 5.56%）

④支払資金の調達及び支払方法

支払資金は銀行借入により調達し、払込期日に全額振り込んでおります。